



1月13日（土）、14日（日）に大学入試共通テストが行われ、本校を含めた県内、さらに全国においても高得点者が増えていくと見受けられます。2年前の平均点が下がった年と比較すると校内に悲壮な空気は薄い印象です。しかし、注意すべきことは共通テスト燃え尽き症候群に陥らないようにすることです。ここで気が抜けてしまい、勉強量が減る、集中力や真剣さが減退する、などという人が毎年います。自己ベストが出せた、できた、というすでに合格を取ったかのような気持ちになり、油断という落とし穴に陥ってしまう場合がありますが、ここはまだ前半戦、続く後半戦を受け流してよいはずがありません。共通テストで取れたということは実力が付いたということではなく、受験の切符を手にしたのだと考え、手にした切符をどう運用するか、またここからの日々が大切です。また、1、2年生の皆さんの本番の際には、共通テストの教科、科目、時間が変わります。情報収集の必要と共に、基礎基本を重視した地道な取り組みや問題演習の積み重ねなど、従来と変わらないものも多くあります。むやみに焦り過ぎず着実に進んで行きましょう。



1月後半の進路関係行事

- 18(木) 三者懇談期間③[~26(金)]
- 19(金) 志望校検討会③[~23(火)]
※国公立大出願校を決定します。
- 22(月) 国公立大学出願開始 (~2/2(金))
※前期、中期、後期全て同時に出願します。成績請求票の貼り忘れに注意!
- 27(土) 土曜課外①② 学習会①②

2月の進路関係行事

- 1(木) 生徒家庭学習日(高校入試前期募集)
- 2(金) 進研共テ②・プロシード②
- 3(土) 進研共テ②・プロシード②
駿台模試①
- 9(金) SSH 研究発表会
- 10(土) 土曜課外①② 学習会①②
- 13(火) 学年PTA委員会①②③
- 15(木) 定期試験時間割発表
- 22(木) 第5回定期試験[~28(水)]
- 25(日) 国公立大学前期試験開始日
- 29(木) 卒業式予行・表彰式
同窓会入会式

3/1(金) 第58回卒業証書授与式

※○数字は学年を示します。

<大学入学共通テスト激励会>

コロナ禍においてオンライン形式になっていた本番前日の激励会が、4年ぶりに従来通り視聴覚室で学年全員が会して行われました。校長先生、3学年主任、進路指導主事から励ましの言葉が述べられ、進路指導部からはテストに向けての最終確認などの説明がありました。毎年恒例の校長先生から代表生徒への激励品（マークシート用消しゴム、合格祈願飴）贈呈、代表生徒による合格だるまの目入れなどが行われ、士気を高めることができました。



▲校長先生から代表生徒への激励品贈呈

進路事務の上田さんが全員分用意してくれました 共テ本番より緊張したそうです（本人より）



▲合格だるまの目入れ

<共通テストを終えて 南高生の声を紹介します>

1、2年生の皆さんも含めて、本番で成功するためには、日常生活の中でできるだけ本番に近い状態を積み重ねて行くことが大切です。多かった声を掲載しましたので、今から1つでも心がけてみてはいかがでしょうか？

◎直前までにやっておいた方がよいこと

*本番を意識して生活する。（寝る時間、起きる時間や食べ物など）生活リズムを整えておく。生活習慣を正しておく。⇒すぐには直せないこともあり。きちんした生活を送る力=合格力です！

*当日の休み時間（長い）に見る用の苦手な所を簡潔にまとめたノートを作った。⇒共テ用でなくても、日々の学習、模試、テストの際にまとめてみては？

◎受験会場での注意点

*試験官の言うことは耳をすまして聞く。毎時間同じことをしつこい位言われる（マーク、名前の確認など）が、そのたびにしっかり確認してミスをなくす。自分を過信しない。⇒日々のHR、定期試験、模試から心がけましょう。

◎その他、アドバイスがあれば！

*リスニング前に速い音声のものを聴いておいたら耳が慣れて本番がゆっくりで聴きやすくなった。⇒英語の先生もおすすめています。詳しくは授業で。
*復習は大切！どんどん新しい問題に触れておきたい気持ちも大切だが、1回解いたからって定着するとは限らない。⇒合格力は復習力。経験を踏まえて自分に合った復習法を把握しておきましょう。

*捨て教科を作らない。3教科だけに絞るとできなかったときに困る。政経が予想より低かったが、理科基礎が易化しておかげでカバーできた。⇒安易な切り捨てに走らず、我が身を救った例です。

【連載】私の進路選択 第4回 水谷 繁先生(化学)

「私の進路選択」をテーマとし、南高校の先生方に大学、就職について決定した際の体験談を伺っていきます。第4回目は水谷繁先生です。先生は本校の卒業生でもあります。

人の人生なんて本当に分からない…南高を卒業して四半世紀、まさか自分が母校の教壇に立っている姿を誰も予想していなかったと思う。

南高に入学したのは兄が南高だったから。勉強が好きではない私は、大学に進学するつもりは全くなかった。しかしながら、兄は習熟クラス。ただただ比較されるのが嫌でそれなりに勉強した記憶が残っている。(詳しくは小林玲先生に) 2年に進級し、習熟クラス(42人中41番)に入った。このクラスに入ったことが人生の大きな分岐点だった。周りの友達に比べられるように大学を志すようになった。無事に第一志望に合格したが、今思うと大学に合格することだけが目的だった。勉強に身が入らない大学時代を送った。時は就職氷河期(ロスジェネ)。何社も採用試験を受けたが、一次試験だけは全て通過した。これは学科試験が高校の学習内容だったから。受験に必要な科目も絶対に捨てるのはダメ! ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)もないくせに三菱商事やKOWAなど大企業の採用試験も受けた。今考えると自分の立ち位置すら分かってなかった。何とか内定を頂いたのが地元の信用金庫。同僚や顧客に恵まれてやりがいを感じた。営業成績を伸ばそうと必死だった。結局、体を壊した。2週間休んで迷惑をかけた。体が一番大事。無理してはダメ! ちょうどこの頃、自分が利益を優先することばかりを重視しているのではないかと疑問を感じ、生徒という人を第一に考える教員になりたいと真剣に考えるようになった。悩んでいた私を後押ししてくれたのは同期の言葉だった。「やればよかったって後悔するならやっ後悔しろ」4年間勤めた会社を退職し、大学院に進学した。教員免許を取りながら大学院の研究をする生活はとても忙しかった。免許状を手にしたときは本当に嬉しかった。これで教員になれる。採用試験は4回も落ちた。でも諦めようとは一度も思わなかった。期間採用教員として多くの生徒と触れ合ったことがさらに教員への憧れを強めていた。5回目の挑戦でようやく採用された。赴任先が南高だった。

10年後の自分を想像して欲しい。ほとんどの生徒が今想像している姿ではないと思う。どんな人生を歩むかなんて本当に分からない。ただ、その道は自分の努力次第で何とでもなることがほとんどである。夢は逃げない。逃げるのは自分。夢に向かって努力できる人になって欲しい。

<共通テストこれが話題でした! 英語の問題より>

今年の共通テストでは、英語リーディングの問題文の増加と新設問で難化が見られました。特徴としては、

- ①過去に例を見ないボリュームの本文量
- ②現代文で求められるような読解力が必要

以上2点が挙げられます。①については、昨年の過去最多のワード数を更新し、さらに分量が増加しました。本文3ページ、ノート1ページ、設問2ページという問題分量は、過去に類をみないボリュームでした。②については、国語の現代文で求められるような「行間」の読み取りや、登場人物の心情を推し量る力が必要でした。カスミとタクヤが沈黙した理由や、カスミが「皮肉」という言葉を使った理由などが問われました。

長文を速く読む対策は楽ではありませんが、「さあここでやってみよう!」という学習の時間以外にも、日々の生活の中で取り組みを積み重ねることができるのではないのでしょうか。英語や現代文はもちろん、全ての教科・科目において文章を読む機会があるので、じっくりと読解するよう心がけ、さらに、書いてあることや授業での説明を自分でまとめながら理解し、内容について思考するよう心がけることで、様々な場面で生かせる読解力、思考力を育てるのではないかと思います。HR等で連絡される内容や日程を自分で整理、管理するよう努めることも良いでしょう。誰かが作ってくれた「まとめシート」などに頼るばかりではなく、能動的な姿勢で周囲の物事を把握・吸収し、読み解く姿勢を育むことで長文化する入試問題に対応する力も培われるのではないのでしょうか。

登場人物の心情については、「小説なんだから色々な解釈があるだろう!」と言われる所で、その通りです。しかし、入試で出題される部分は本文中に必ず解答の根拠があり、言葉や表現と人物の心情が連動していることを読み解くのも楽しいものです。英語はもちろん、現代文の小説の授業や試験問題でそのような経験を積み重ねてください。

1. 2年生 春季特別講座について

今年も3月に大手予備校の人気講師による春季特別講座を計画しています。1年生は3月2日(土)~3日(日)に駿台予備学校の鳥光宏先生による古文講座を、2年生は3月2日(土)に代々木ゼミナールの佐々木和彦先生による英語講座および藤田健司先生による数学講座を実施します。毎年南高生から大好評の講座です。1年生については、「2日間通して古文なんて…」と不安な人もいるかもしれませんが、分かりやすさと楽しいお話(意欲が上がるお話など)で予想ほど時間の長さを感じないはずです。何と云っても、2日間で1年間の古典文法を全範囲復習でき、ばらばらだった知識が体系的にまとまるという貴重な機会です。2年生についても、日頃の勉強の中でついつい意識が薄くなりがち重要なポイントを思い起こせるなど、学習の活性化に大いに生かせることでしょう。ぜひ積極的に申し込んでください。